

淡路三原高校ビジョン出前講座グループワーク

<グループワークのテーマ>

ビジョンの目標にあるそれぞれのテーマを実現するために地域ができること、私たちが
できることを考えよう

<グループワークで出た主な意見>

【目標1：持続可能な暮らしと環境の島】

淡路島のだんじり祭りを未来に残していくためにできること

地域ができること	私たちができること
<ul style="list-style-type: none"> ・ SNS でだんじりの魅力を PR する ・ チラシ等で参加を促す ・ だんじりツアーを企画する ・ 次世代に継承するために、学校でだんじりにふれる機会を作ったり、だんじりの魅力を伝える ・ 地区外の人でも参加できるようにする ・ 体験イベントなどをする 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の人と交流する ・ 積極的に参加する ・ だんじり祭りの楽しさを伝える講演会を行う ・ だんじりの魅力を伝えていく

【目標2：食とエネルギーを生み出す島】

若者に1次産業に関心を持ってもらうためにできること

地域ができること	私たちができること
<ul style="list-style-type: none"> ・ 収穫体験や漁に同行するイベントを企画する ・ 農業、漁業の体験を通して学べるイベントを企画する ・ 一次産業の体験をしてもらい、若者に感心を持ってもらう ・ メリットを伝える ・ 農業など一本に絞らず副業としての選択肢をつくる ・ 海を綺麗にする ・ 淡路島で採れた食材を使って新しい商品を開発する ・ ICT・ロボット技術を活用して人件費を削減する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体験型企画を小中学生にしてもらう ・ ホームページをつくる ・ SNS などを使って淡路島の食の魅力を知ってもらう ・ 淡路島の食の歴史を知る ・ 地産地消を心がける ・ 産地直送の市場で食材を買う ・ 淡路島の食材の魅力を知り、どんなところで使われているかを知る ・ 畑などに流れる水をなるべく汚さないようにする ・ 海への廃棄物を減らし、ゴミを捨てないことを心がける ・ 食材の生産元を調べる

<ul style="list-style-type: none"> ・畑や田んぼを共有して誰でも気軽に趣味や副業として使えるようにする 	
---	--

【目標 3：危機や災害から生き残る島】

災害に強い地域にするためにできること

地域ができること	私たちができること
<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練をアップグレードする ・防災教育を行う ・建物の耐震工事をする ・避難所の整備をする ・古い空き家を壊す ・堤防を強化する ・避難所がわかる看板などを設置する ・年に1回、避難道具や非常食を買う行事をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難経路と避難場所を確認する ・防災意識を高くする ・防災グッズを用意する ・非常食を点検する ・家や家具を固定する ・家の中で危険な場所がないか考える ・いろんな人とコミュニケーションをとる

【目標 4：観光客や移住者と共に発展する島】

淡路島がこれからも観光の島として発展するためにできること

地域ができること	私たちができること
<ul style="list-style-type: none"> ・島を綺麗にする ・交通網を整備する ・空き家や空き地を活用する ・分かりやすく印象に残る宣伝を増やす ・ユニバーサルデザインのを増やす ・淡路島にしかない建物、施設、観光スポットをつくる ・リゾート地を増やす ・淡路島出身の有名人を観光大使にする ・観光客に泊ってもらえるよう2日目も楽しめる施設をつくる ・いろんな年齢層の人たちが楽しめるようなお店をつくる ・人気アニメなどとコラボをする ・淡路島のグッズをつくる ・企業を誘致する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみを拾って綺麗にする ・淡路島にしかない魅力をわかりやすく伝える動画を作成し、学校の SNS などで配信する ・クラウドファンディングをする ・伝統を受け継ぐ ・地域のことを知る ・SNS で広める ・淡路島のいいところをまとめた PR 動画をつくる ・淡路島の良さを伝える

<ul style="list-style-type: none"> ・大型野外フェスやアニメコラボなど、イベントを行う ・町の景観を生かした観光スポットをつくる 	
---	--

【目標5：全ての人誇りを持って生きる島】

高齢者がいつまでも元気に生活するためにできること

地域ができること	私たちができること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域内での活動を増やす ・お金がない人でも誰でも介護が行き届くようにする ・交流の場を設ける ・医療施設を増やす ・ボランティアで、老人を介護する日をつくる（介護の日） ・介護士を増やす ・地区や市規模のイベントや行事・祭りを増やす ・自動で動くベッドなどを増やす 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが率先してあいさつをする ・近隣の高齢者との交流を増やす ・ボランティアをする ・高齢者に優しく接する ・イベントに参加する